

づもけしきふハ巢ハなるかゞれども巢の下マでん
けれぬおもあれハかたしめのたふさ記し玉ぬお巢をん
と離るもふた時の巢の近き木もささるぬやふして
よく生ふ故立たりまはすれば飼はるふくじと考へて再び
けし巢をんまはす毎日けしるもや近き木もささ
らぬふしてさへ見ればくじかふだ万一巢の近きこのやうす
かきまはす時ハ再ハ離れ飼ぬぬましく死すもなうりある
いハゆふさの巢をん見ゆり卵五ツ六ツをけりていつ産止し